

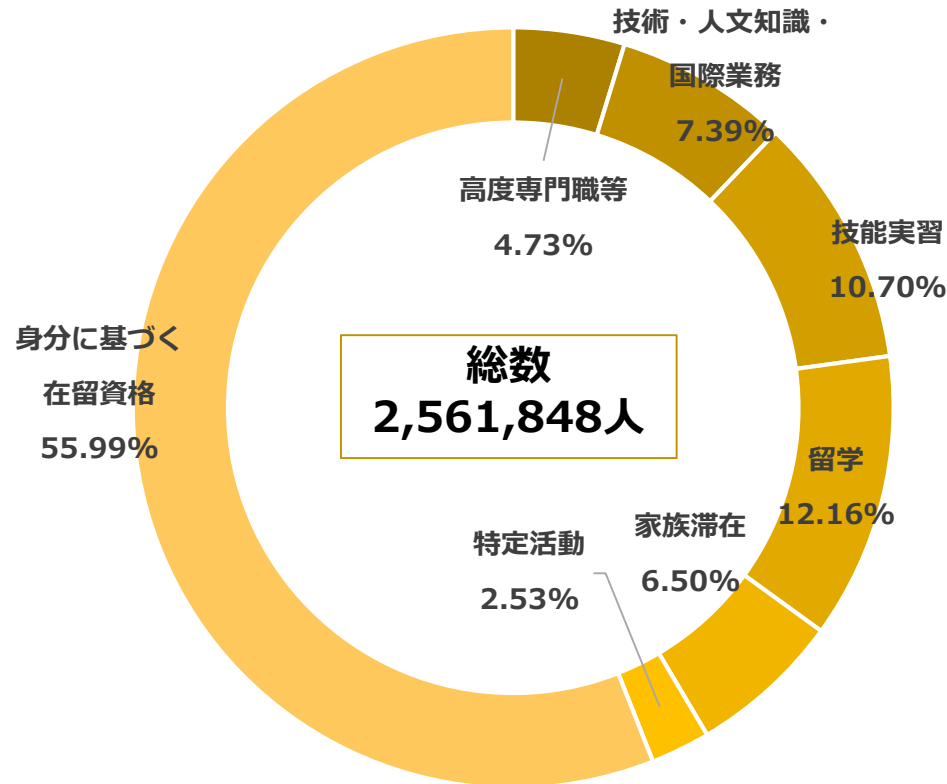
法務省発表
「在留外国人統計統計表」より
(2017年末時点)

2018年7月19日
協同組合アシスト

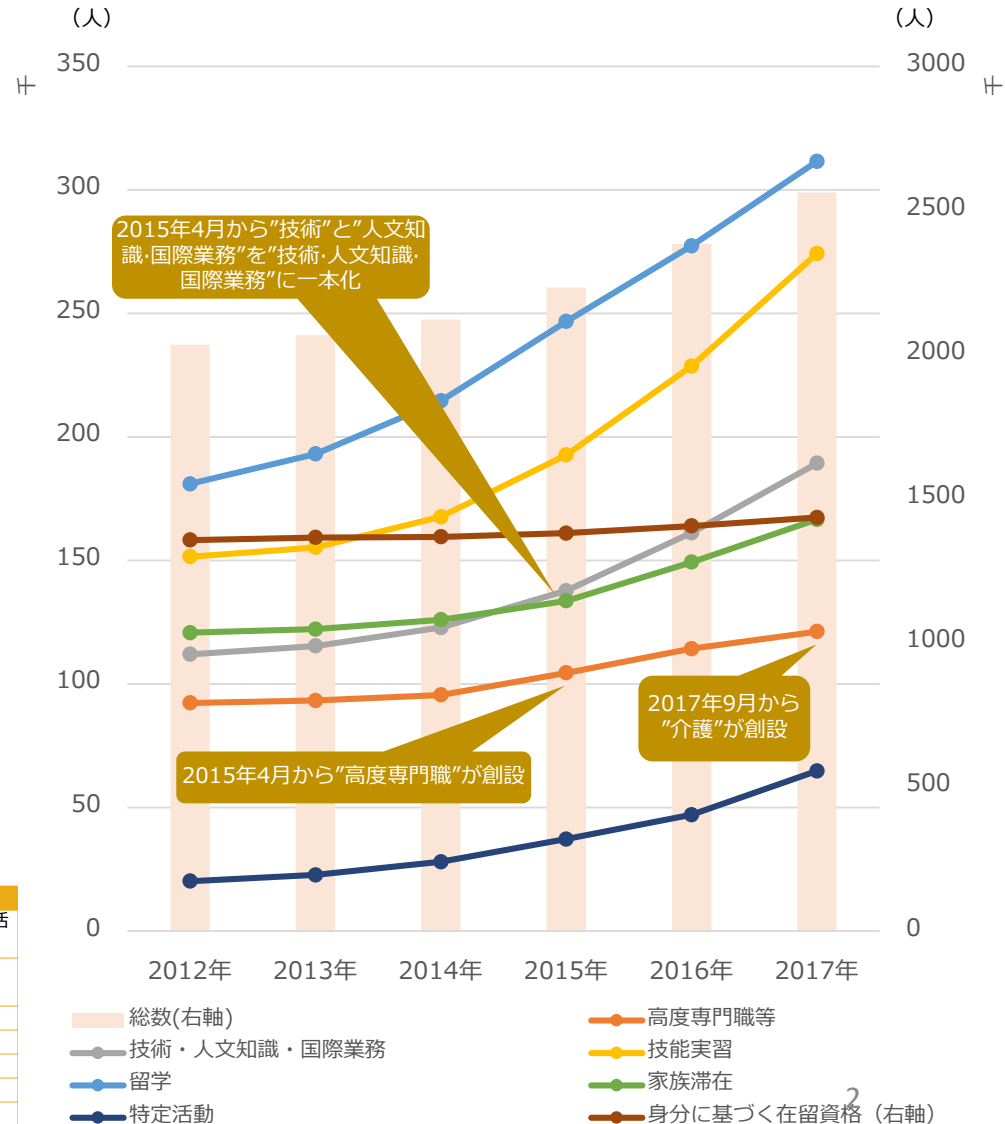
総数

「技能実習」「留学」「技術・人文知識・国際業務」「特定活動」といった在留資格の伸び率大きい。

在留資格別内訳（2017年末時点）



在留資格別在留人数推移



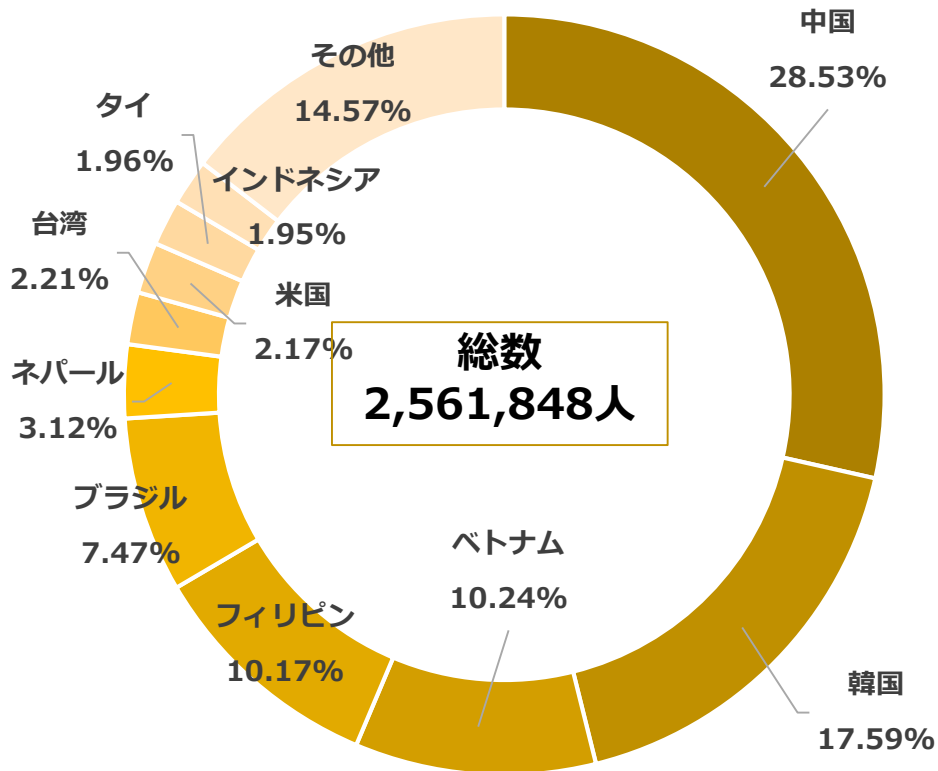
区分	区分に含まれる在留資格名
高度専門職等	外交,公用,教授,芸術,宗教,報道,経営・管理,法律・会計業務,医療,研究,教育,介護,興行,技能,文化活動,高度専門職1号イ,高度専門職1号ロ,高度専門職1号ハ,高度専門職2号,企業内転勤,研修
技術・人文知識・国際業務	技術・人文知識・国際業務
技能実習	技能実習1号イ,技能実習1号ロ,技能実習2号イ,技能実習2号ロ,技能実習3号イ,技能実習3号ロ
留学	留学
特定活動	特定活動
家族滞在	家族滞在
身分に基づく在留資格	永住者、日本人の配偶者等、永住者の配偶者等、定住者、特別永住者

※在留資格には上記の他に、観光,商用,知人・親族訪問など、90日以内の滞在で報酬を得る活動をしない場合に認められる「短期滞在」があります。

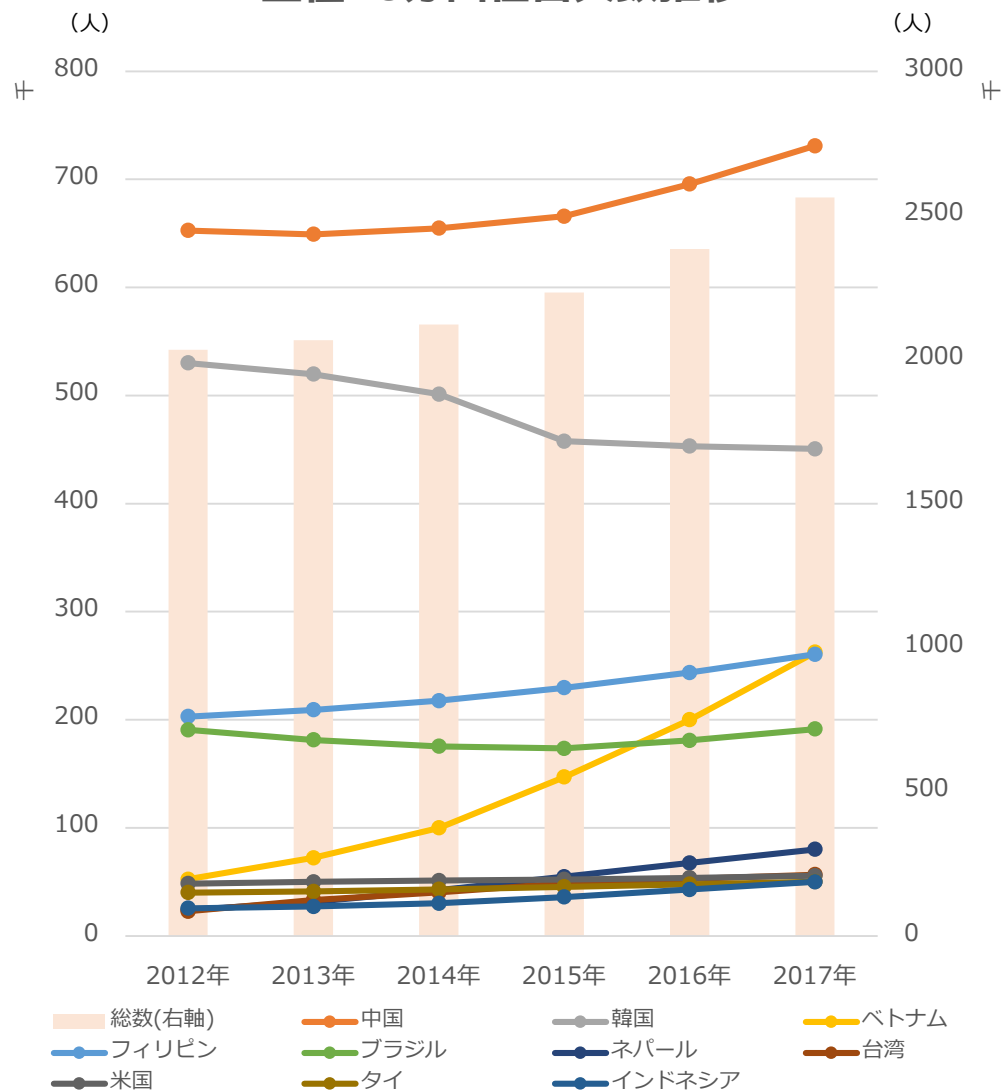
総数

ベトナム人やネパール人の伸び率が高い。
中国人やフィリピン人、インドネシア人も堅調に増加。

上位10カ国内訳（2017年末時点）

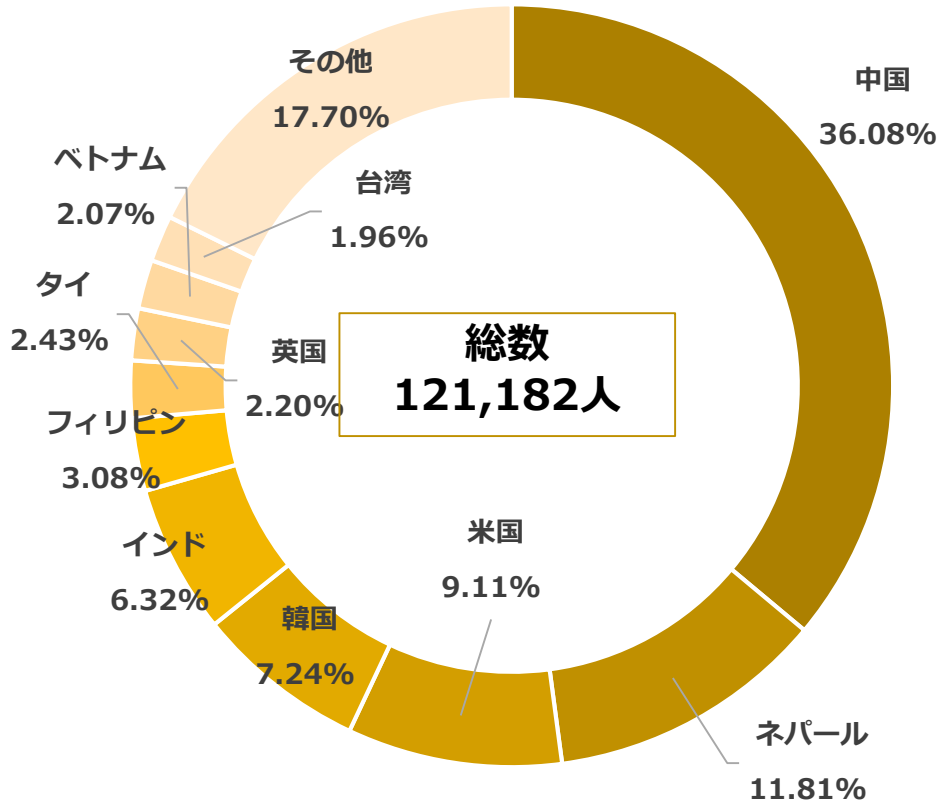


上位10カ国在留人数推移

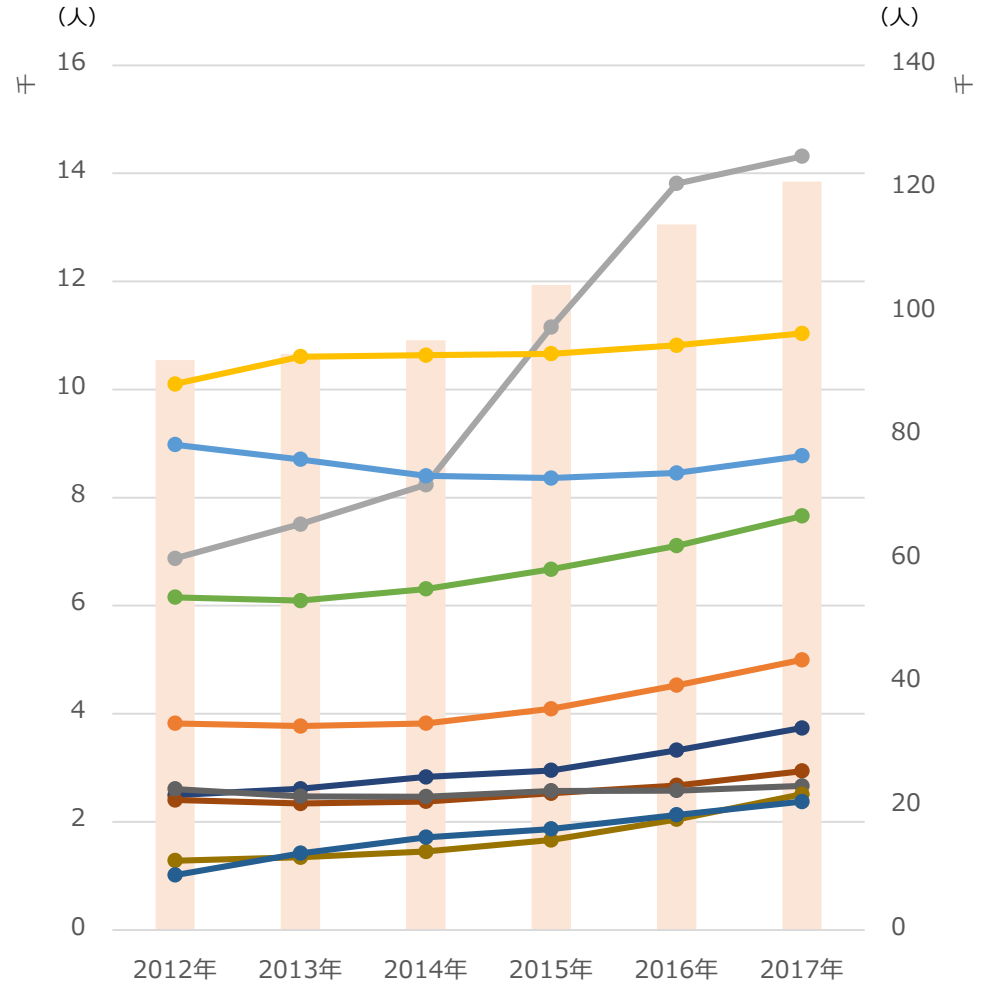


ネパール人は、2014年から2016年にかけて在留資格「技能」で2,000名～3,000名／年の新規入国があることで急増。

上位10カ国内訳（2017年末時点）



上位10カ国在留人数推移

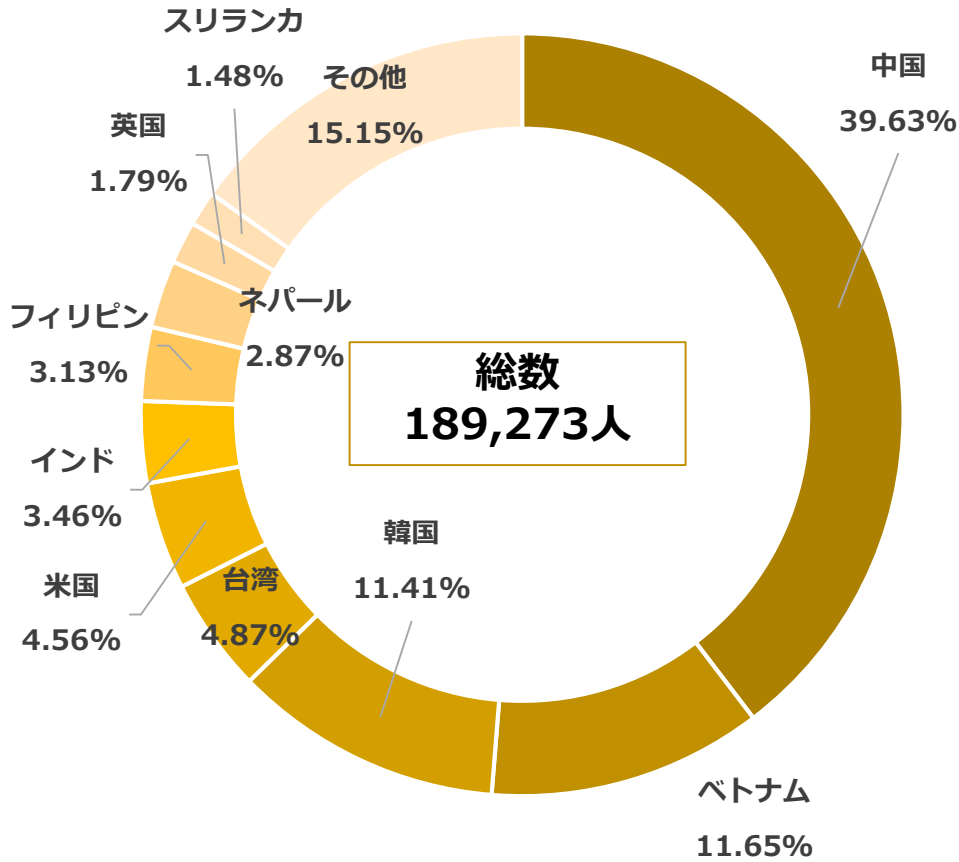


区分	区分に含まれる在留資格名
高度専門職等	外交,公用,教授,芸術,宗教,報道,経営・管理,法律・会計業務,医療,研究,教育,介護,興行,技能,文化活動,高度専門職1号イ,高度専門職1号ロ,高度専門職1号ハ,高度専門職2号,企業内転勤,研修

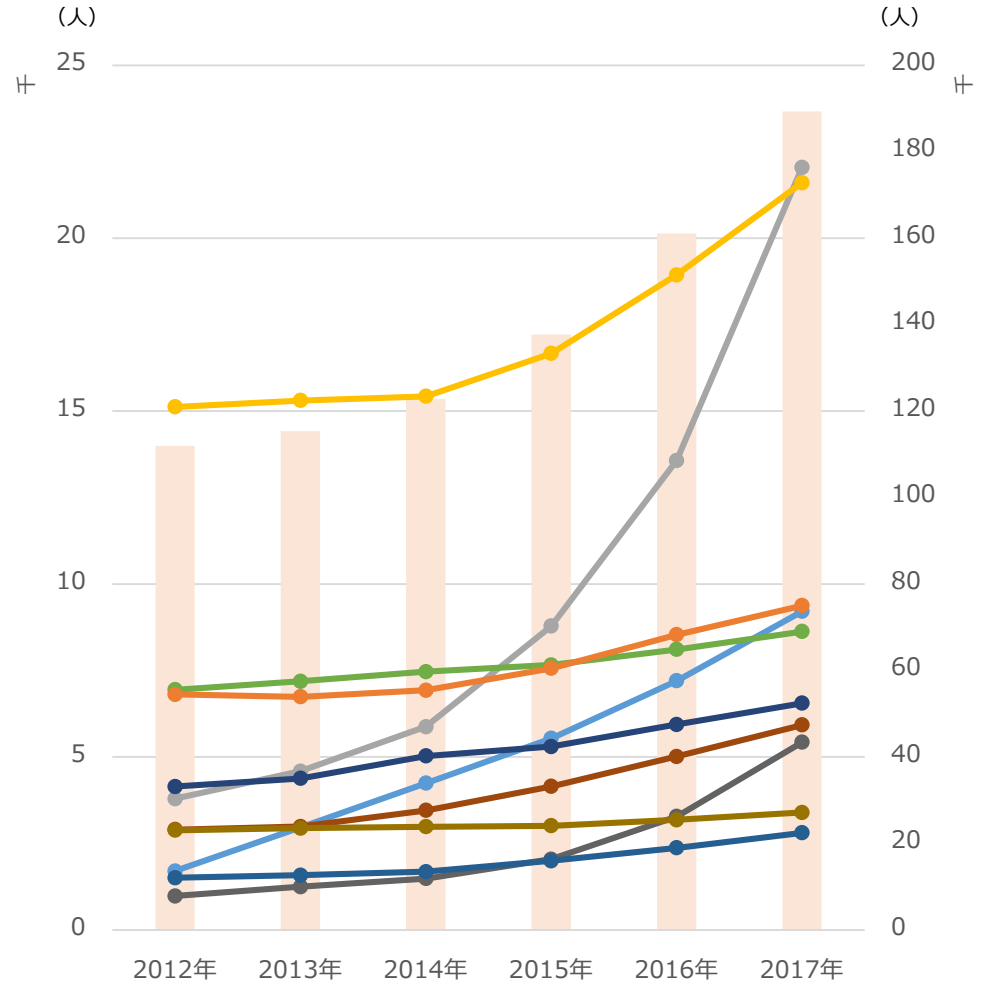
■ 総数(右軸)
 ● ネパール
 ● 米国
 ● 韓国
● インド
 ● フィリピン
 ● タイ
 ● 英国
● ベトナム
 ● 台湾
 ● 中国(右軸)
 4

この6年間でベトナム人、ネパール人は5倍超の増加。ベトナム人は2017年末時点で韓国人を抜き中国に次いで在籍人数2番手に。

上位10カ国内訳（2017年末時点）



上位10カ国在留人数推移



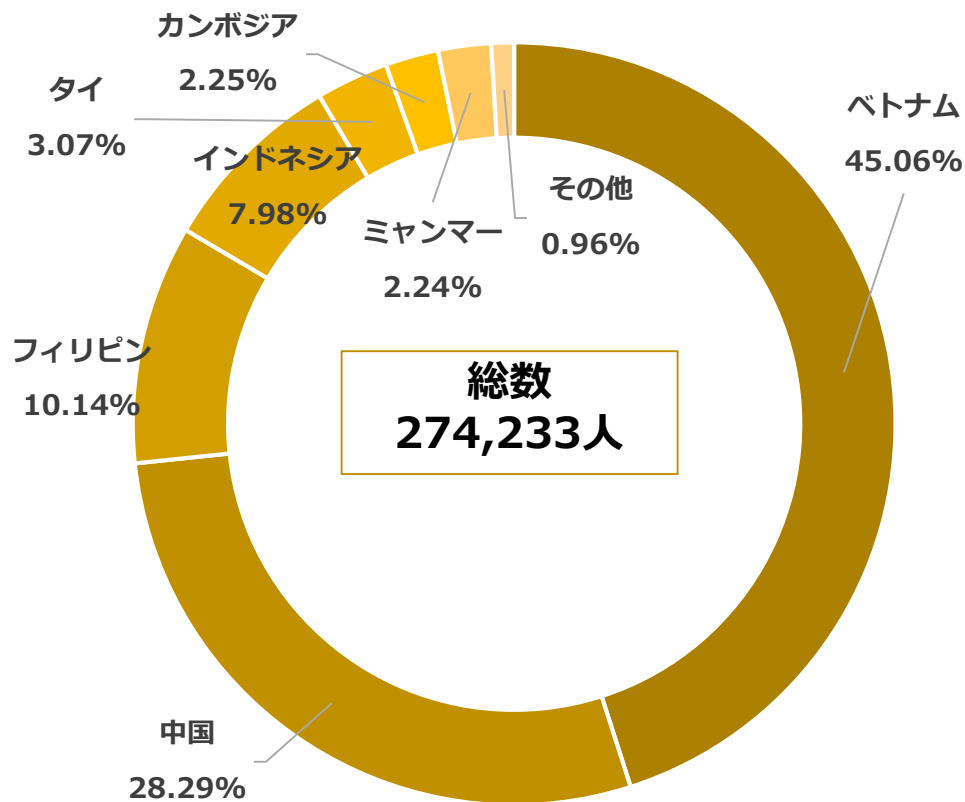
総数(右軸)
 ベトナム
 韓国
 台湾

米国
 インド
 フィリピン
 ネパール

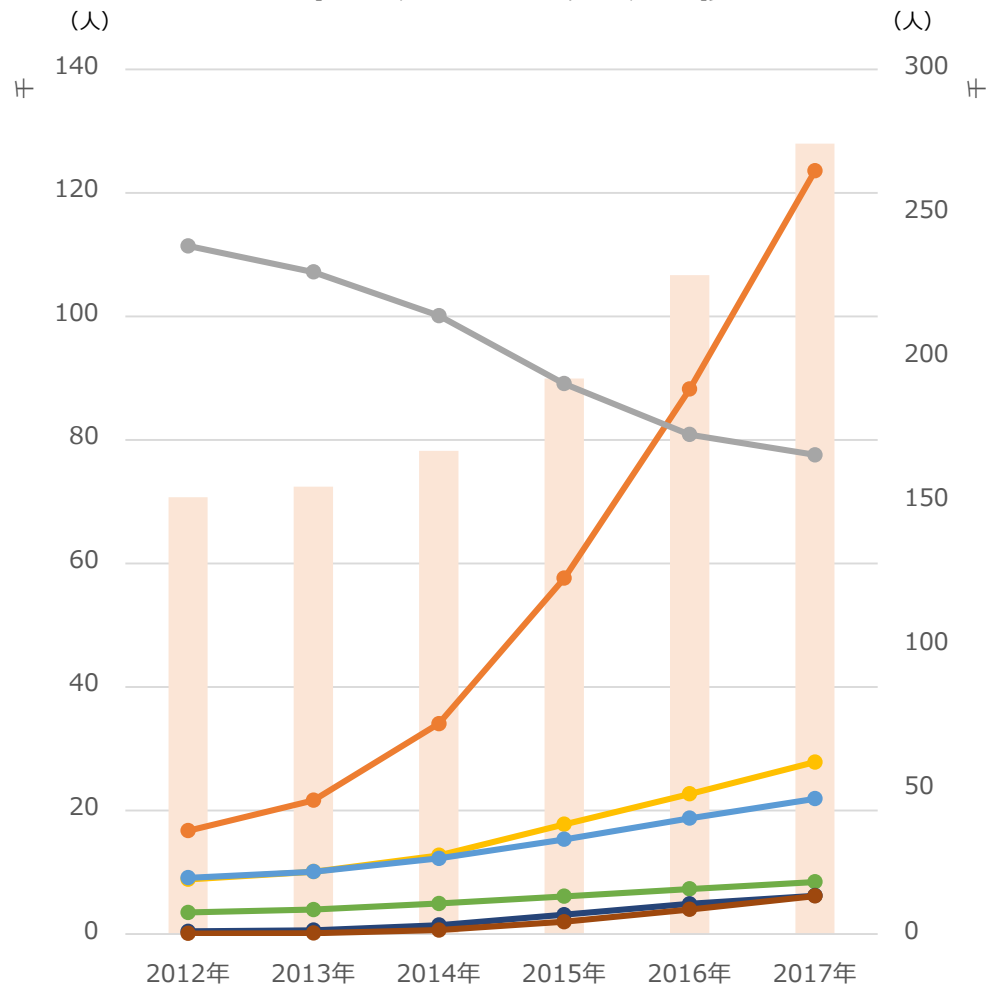
英国
 スリランカ
 中国(右軸)

この6年間でベトナム人は6倍超の増加。
ベトナム人は2016年末時点で中国人を抜いて在籍人数トップに。

上位8カ国内訳（2017年末時点）



上位8カ国在留人数推移



■ 総数(右軸)
 —●— ベトナム
 —●— 中国
 —●— フィリピン
—●— インドネシア
 —●— タイ
 —●— カンボジア
 —●— ミャンマー

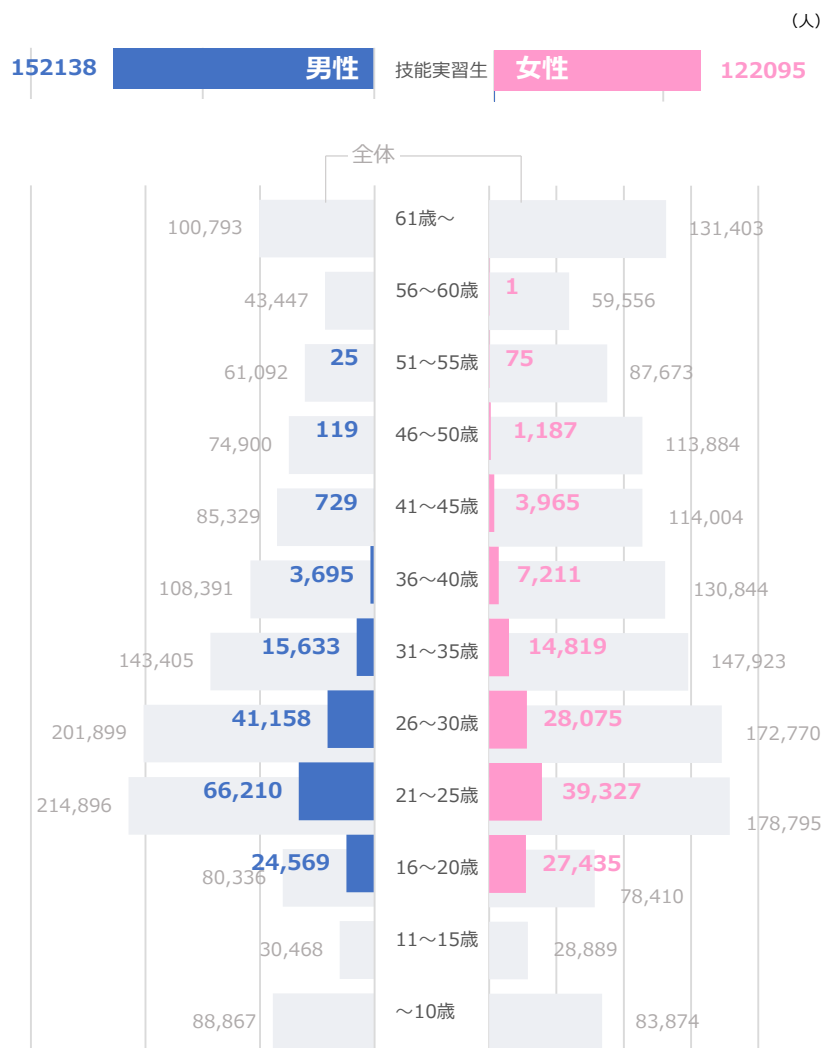
技能実習生は男女ともに18～30歳が多く、
愛知、茨城、広島、千葉、埼玉での受け入れが顕著。

国籍別技能実習生人数

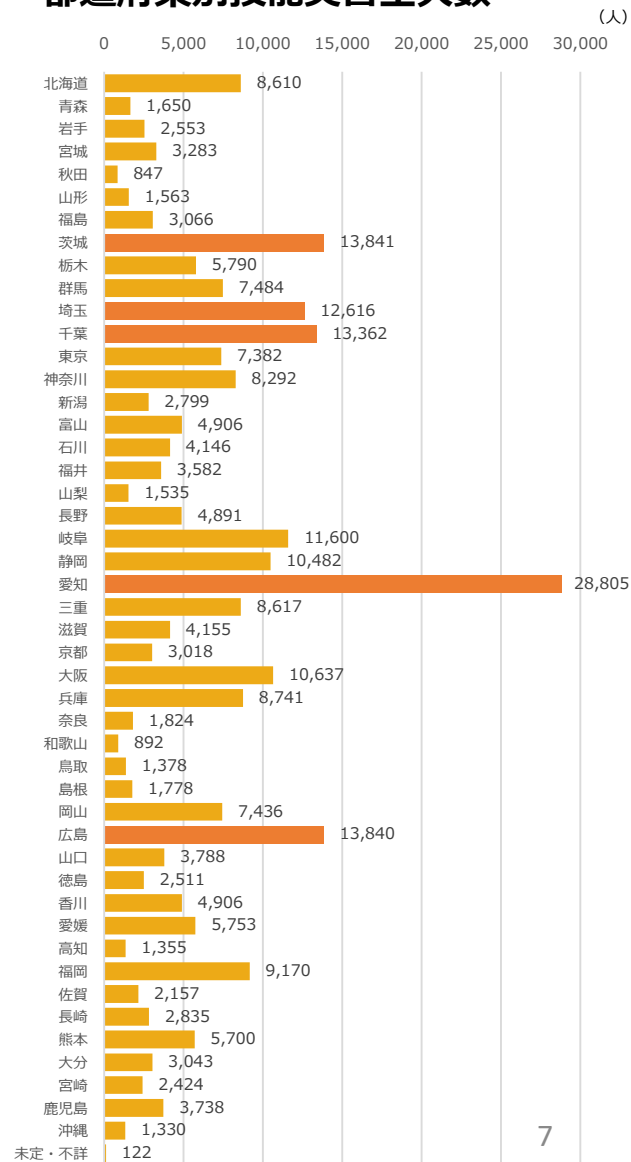
	国籍・地域	在籍人数(人)
1	ベトナム	123,563
2	中国	77,567
3	フィリピン	27,809
4	インドネシア	21,894
5	タイ	8,430
6	カンボジア	6,180
7	ミャンマー	6,144
8	モンゴル	1,099
9	ラオス	429
10	スリランカ	341
11	ネパール	179
12	メキシコ	172*
13	バングラデシュ	103
14	マレーシア	96
15	インド	54*
16	ペルー	46
17	キルギス	22
18	ブータン	17
19	ウズベキスタン	17
20	パキスタン	15*
21	韓国	13*
22	台湾	10*
23	トルコ	10*
24	ブラジル	9*
25	アルゼンチン	5*
26	サウジアラビア	2*
27	フランス	2*
28	南アフリカ共和国	2*
29	ニカラグア	2*
30	ロシア	1*

上表のうち*は企業単独型技能実習のみ。

性別・年齢別技能実習生人数

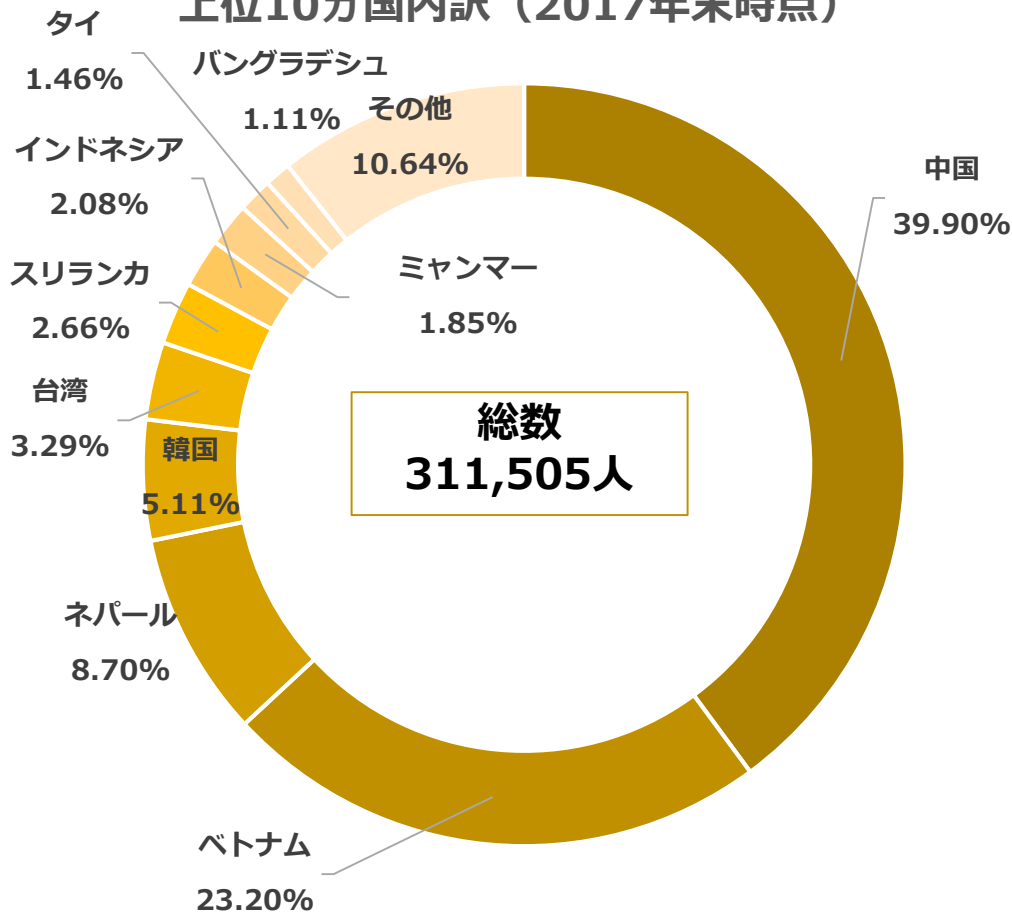


都道府県別技能実習生人数

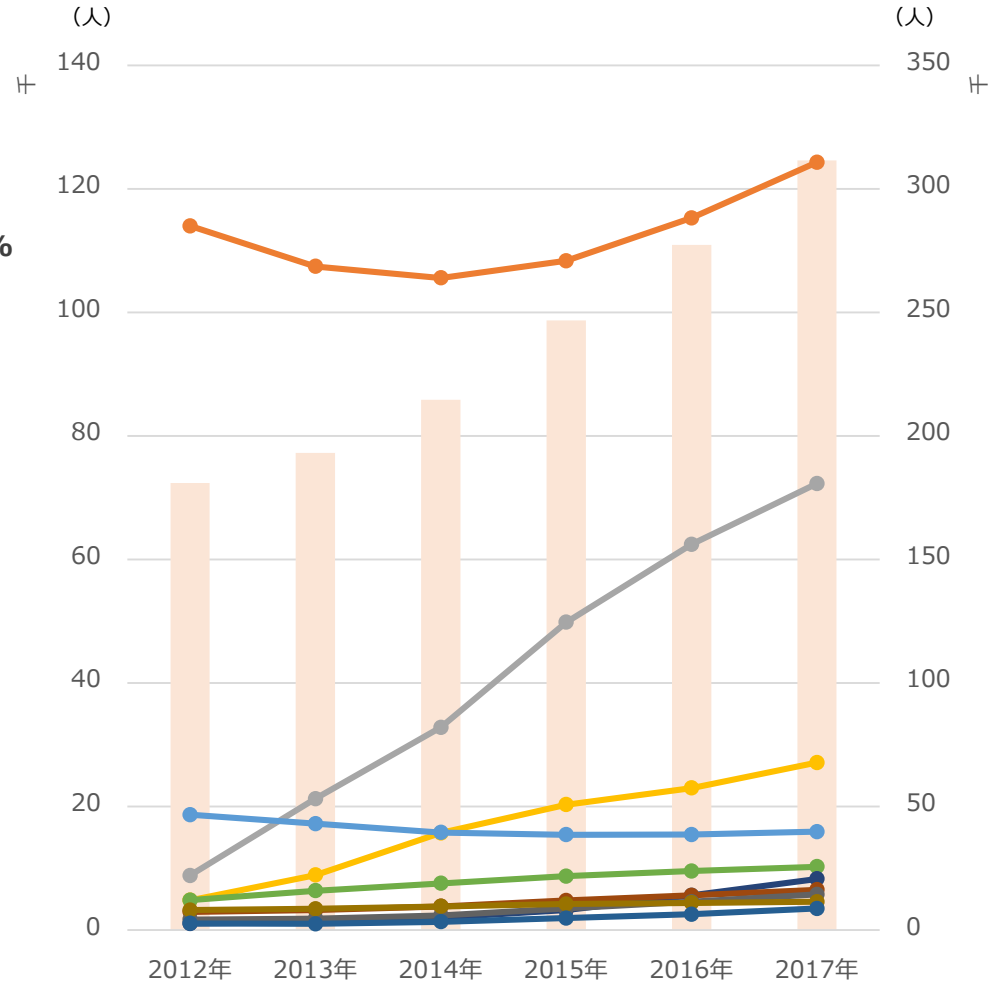


ベトナム人、ネパール人の伸び率が大きく、
中国人も2014年から増加傾向にある。

上位10カ国内訳（2017年末時点）



上位10カ国在留人数推移

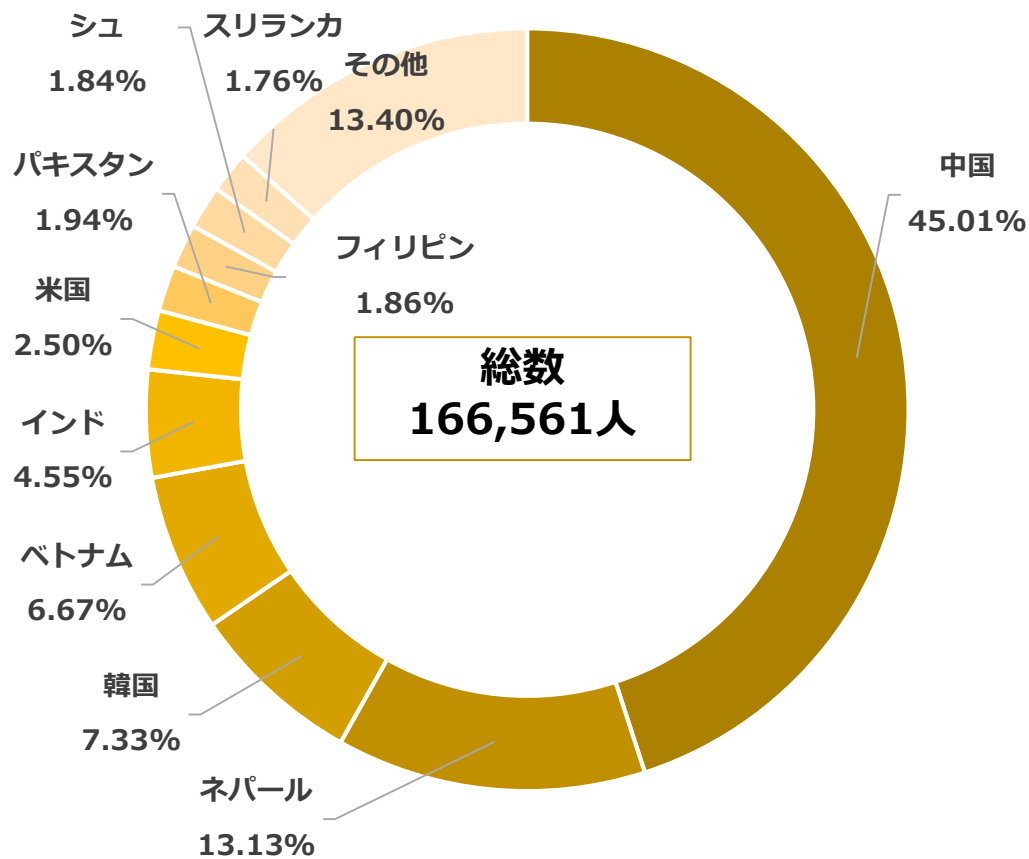


■ 総数(右軸) ● 中国 ● ベトナム
● ネパール ● 韓国 ● 台湾
● スリランカ ● インドネシア ● ミャンマー
● タイ ● バングラデシュ

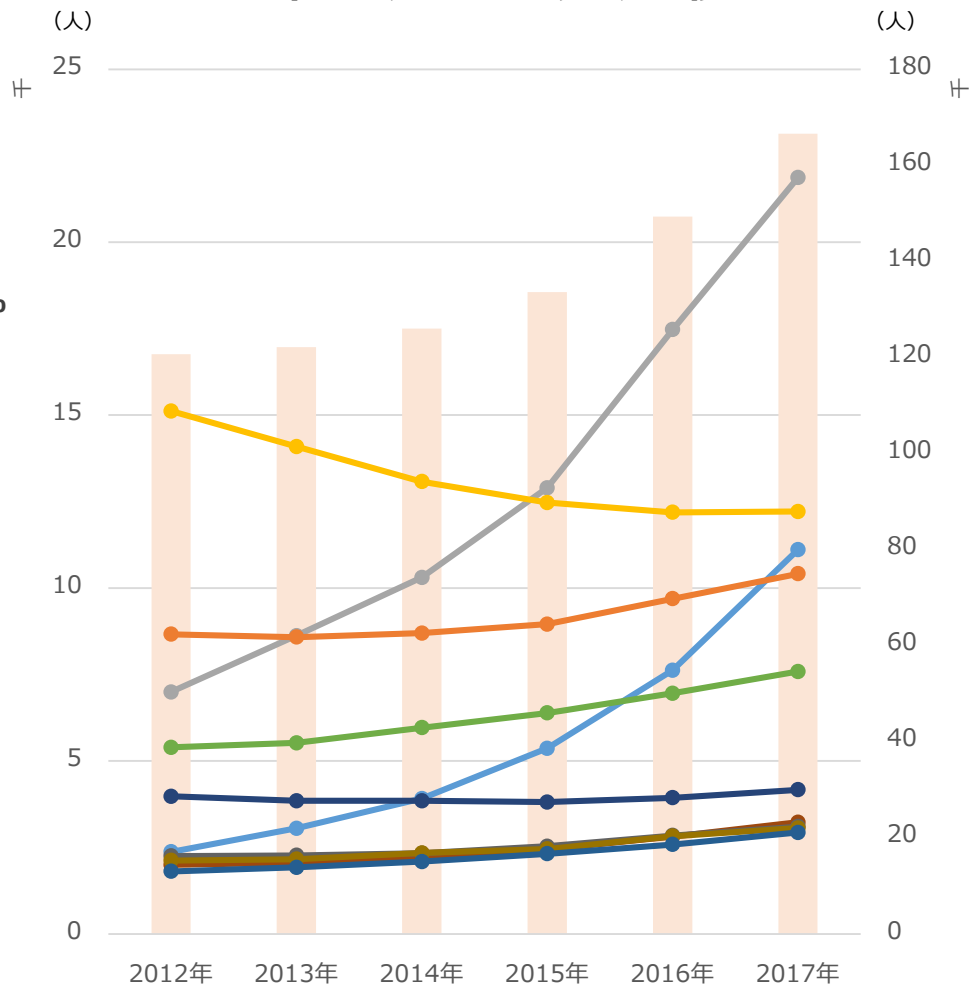
在留資格別：家族滞在

在留資格「技能（家族帯同可）」の増加に伴ったネパール人の人数・伸び率が大きい。上位10カ国中、韓国人のみ減少。

上位10カ国内訳（2017年末時点）



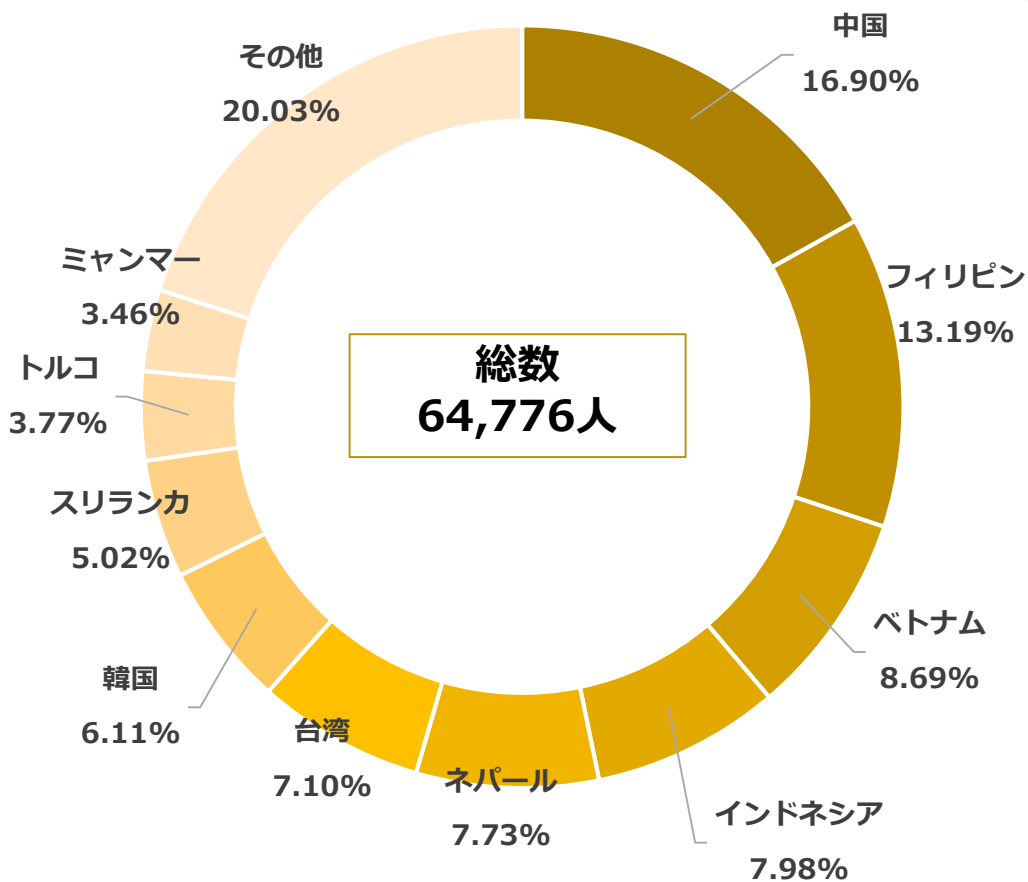
上位10カ国在留人数推移



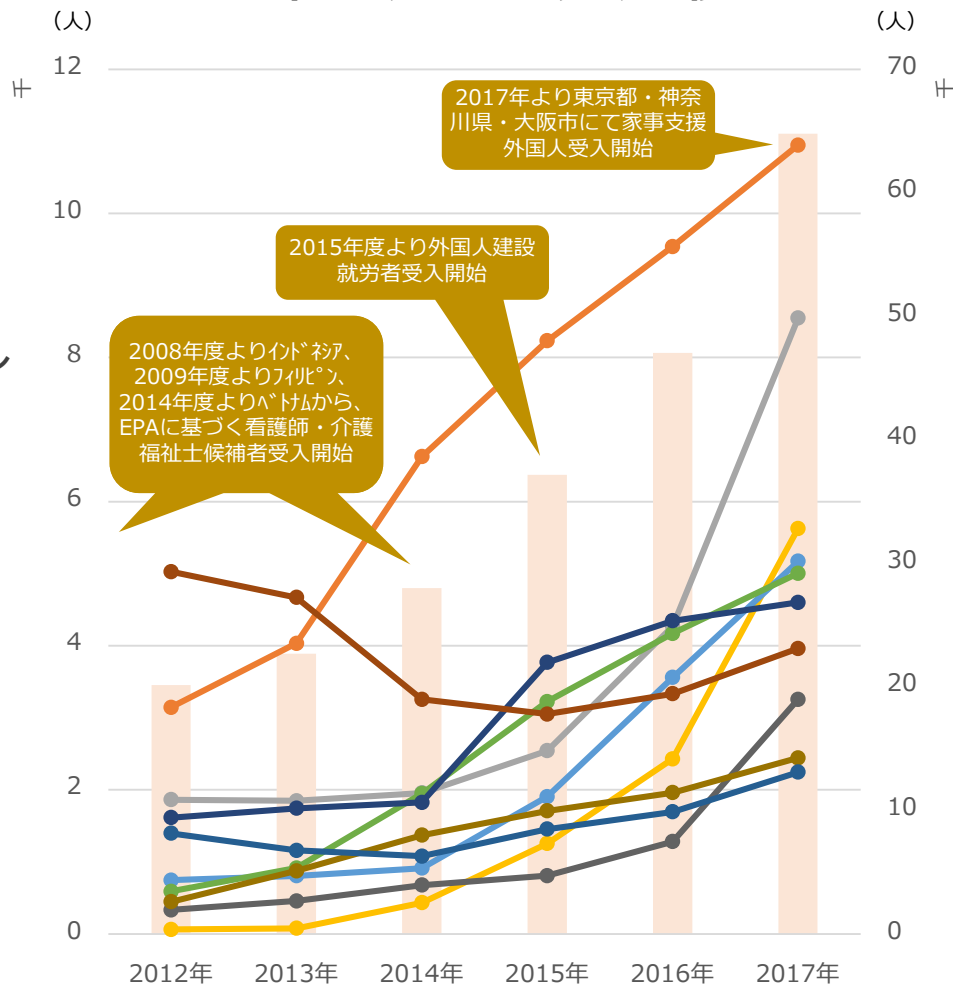
- 総数(右軸)
- ネパール
- 韓国
- ベトナム
- インド
- 米国
- パキスタン
- フィリピン
- バングラデシュ
- スリランカ
- 中国(右軸)

厚労省の看護師・介護福祉士候補者受入事業、国交省の外国人建設/造船就労者受入事業、国家戦略特区の家事支援外国人受入事業等により、年々在籍上位国が入れ替る。

上位10カ国内訳（2017年末時点）



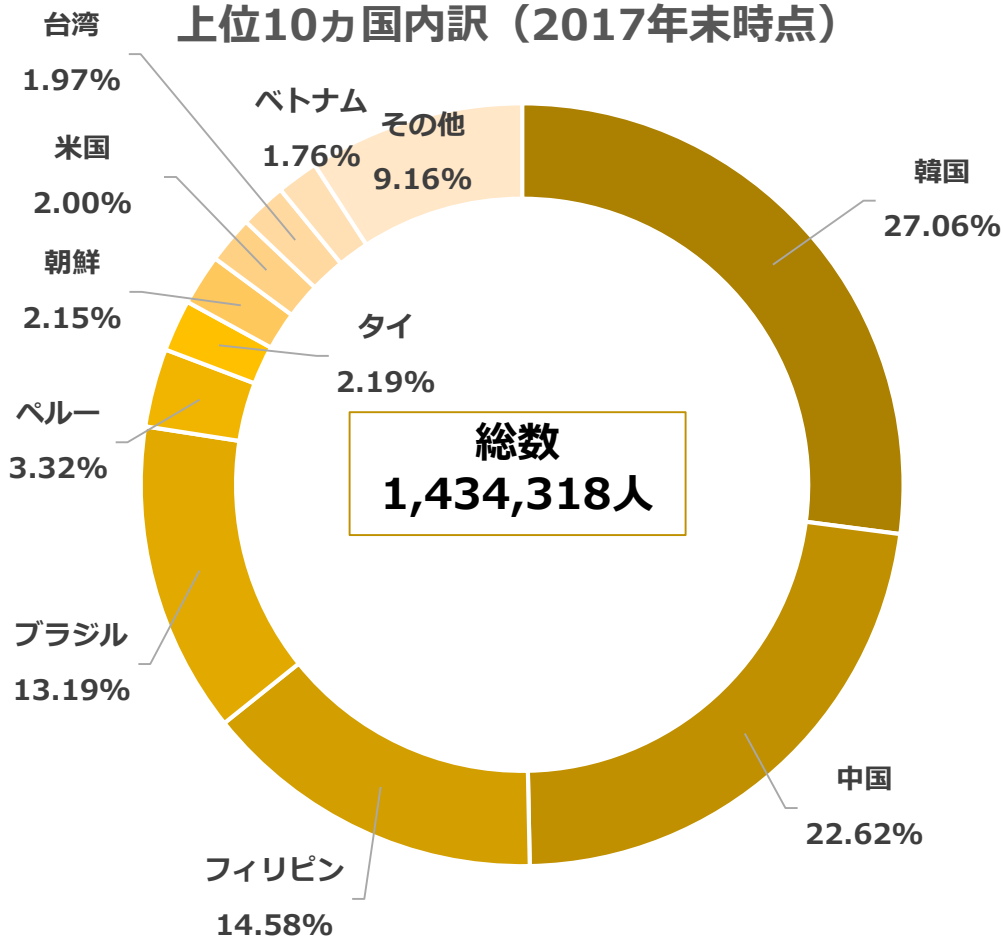
上位10カ国在留人数推移



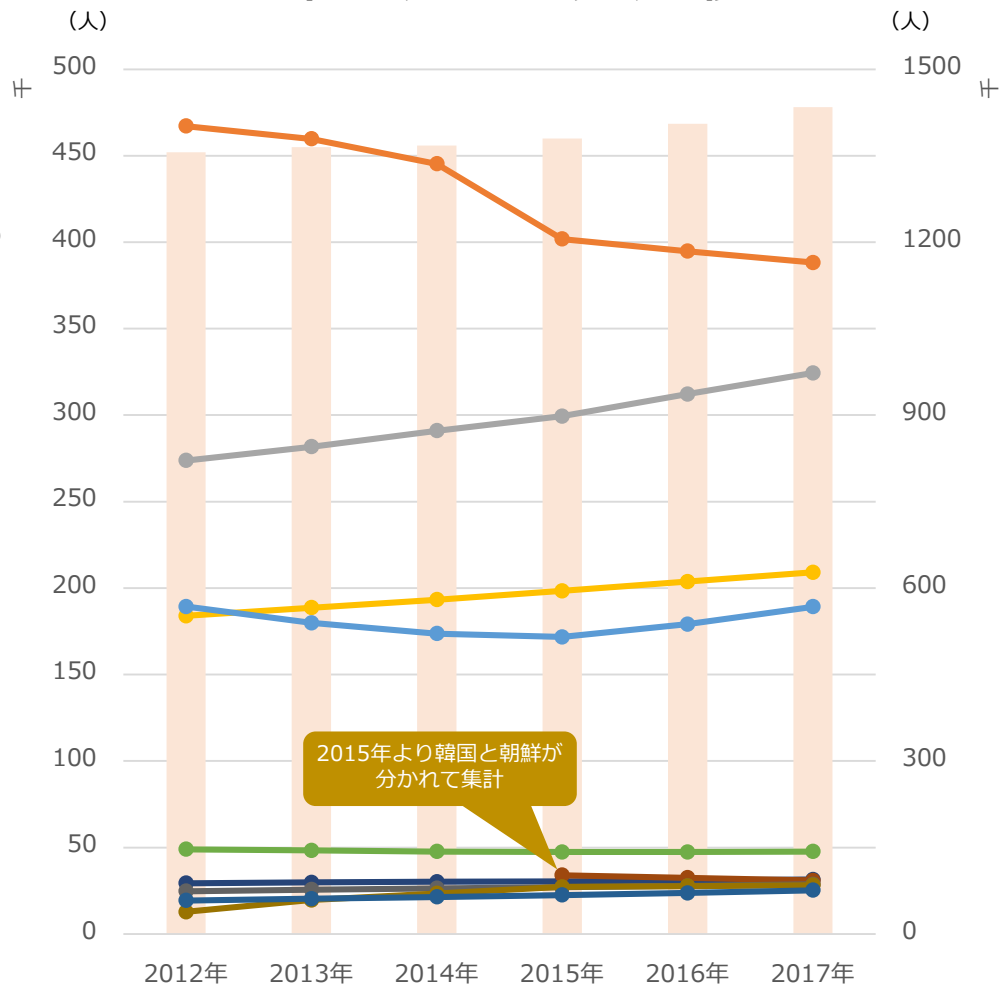
■ 総数(右軸) ● 中国 ● フィリピン ● ベトナム
● インドネシア ● ネパール ● 台湾 ● 韓国
● スリランカ ● トルコ ● ミャンマー

中国人・フィリピン人は堅調に増加。
韓国人は減少傾向。

上位10カ国内訳（2017年末時点）



上位10カ国在留人数推移

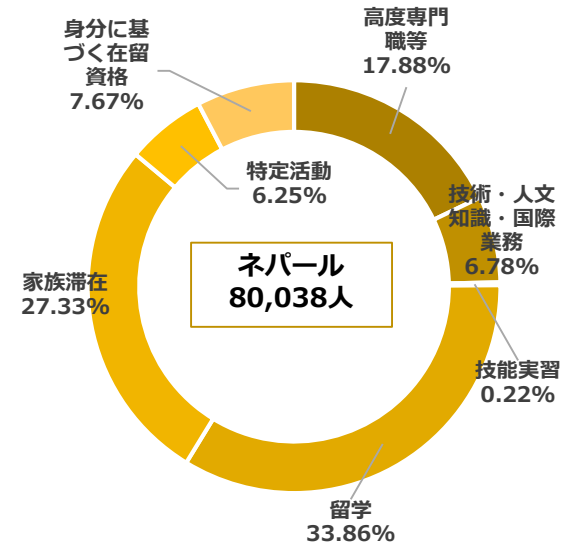
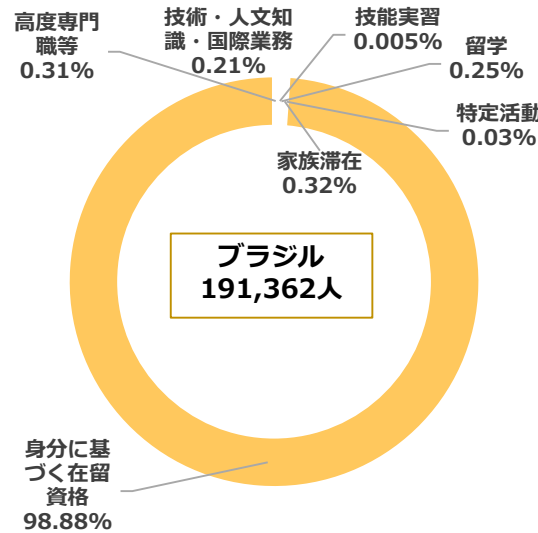
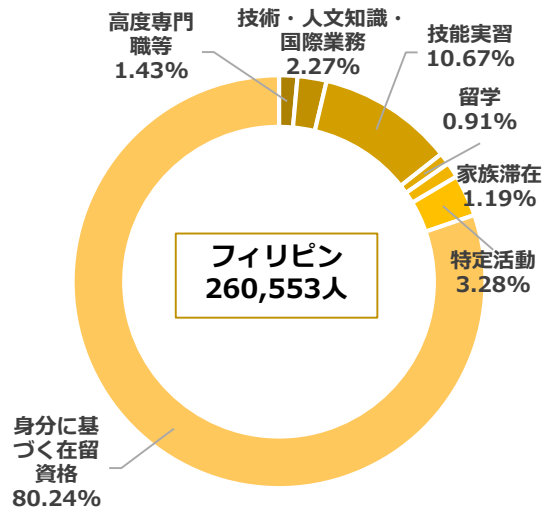
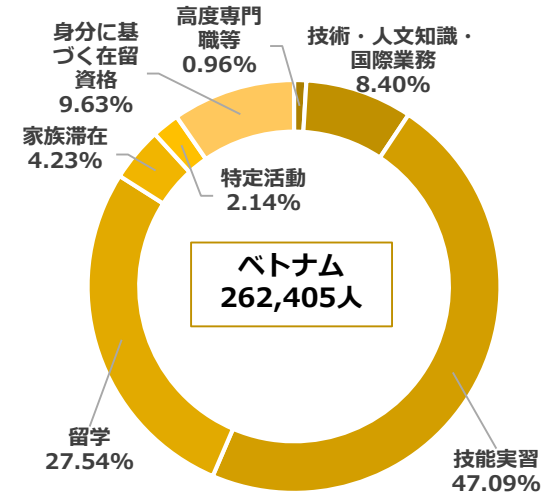
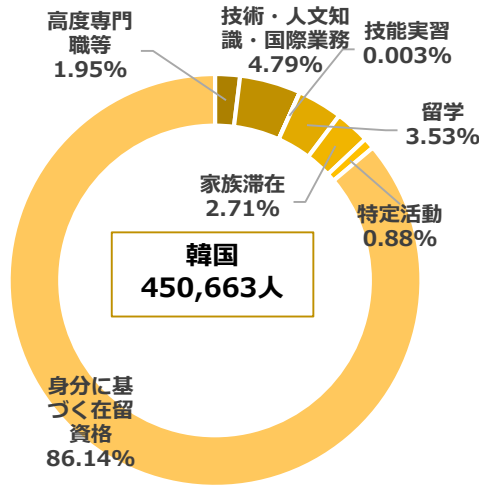
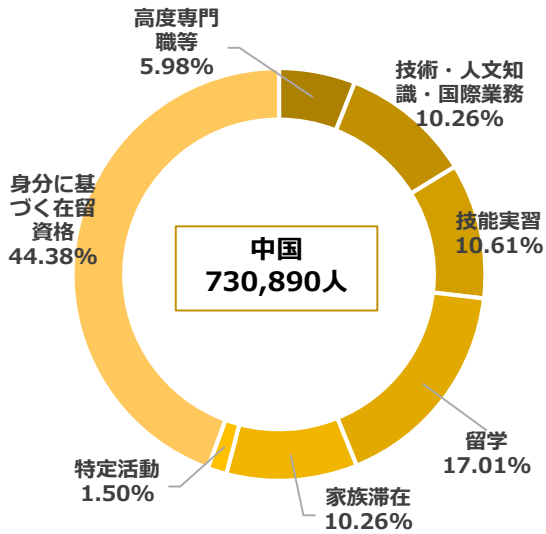


区分	区分に含まれる在留資格名
身分に基づく在留資格	永住者、日本人の配偶者等、永住者の配偶者等、定住者、特別永住者

- 総数(右軸)
- 韓国
- 中国
- フィリピン
- ブラジル
- ペルー
- タイ
- 朝鮮
- 台湾
- ベトナム
- 米国

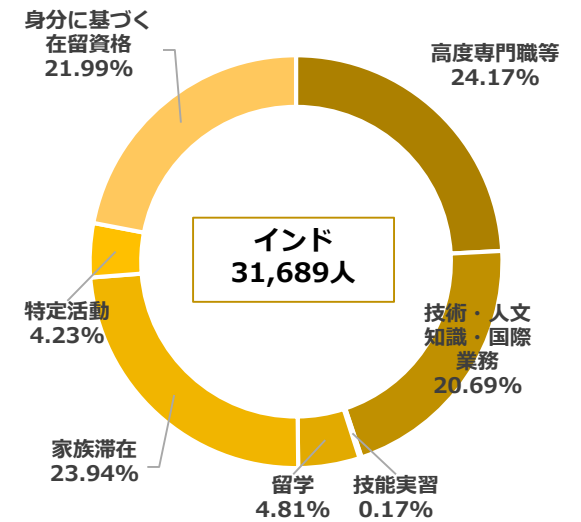
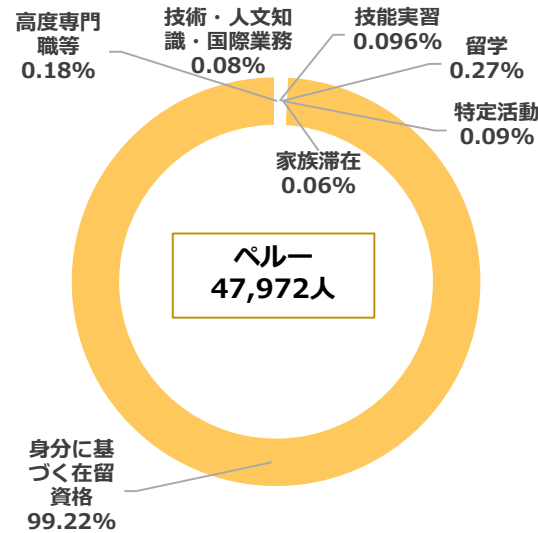
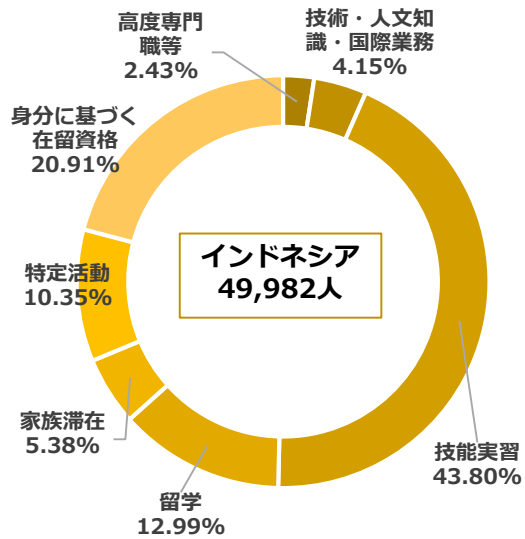
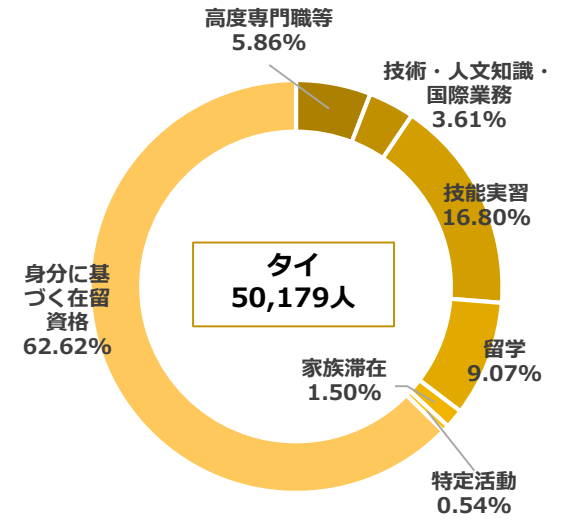
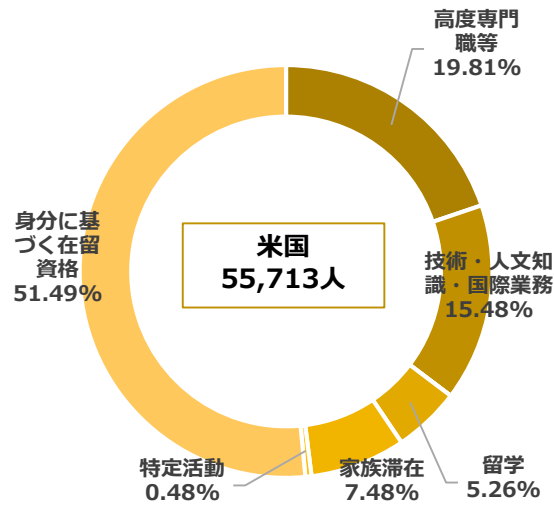
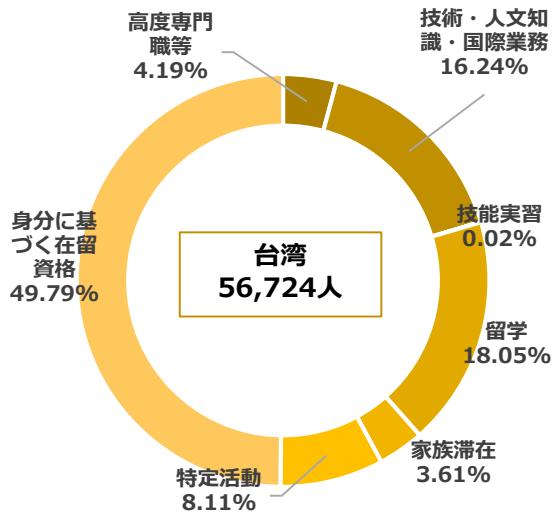
国籍別在留資格内訳①

(2017年末時点。在留人数10,000人以上)



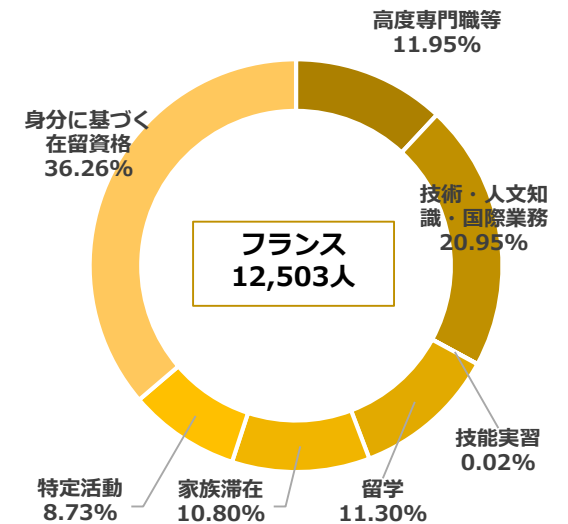
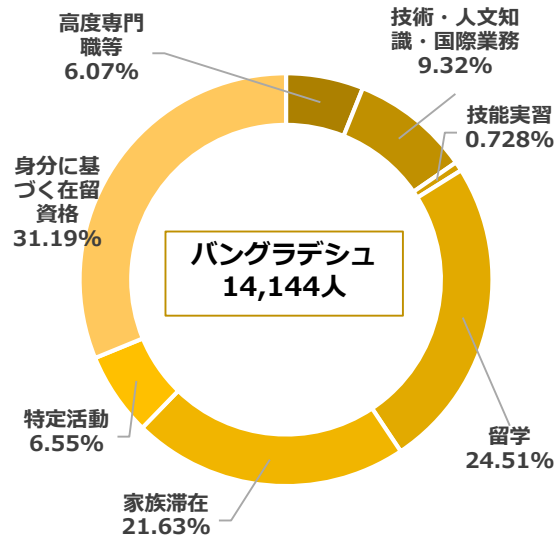
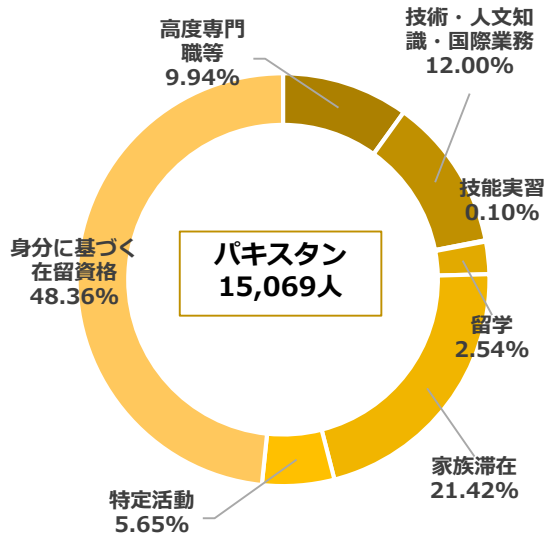
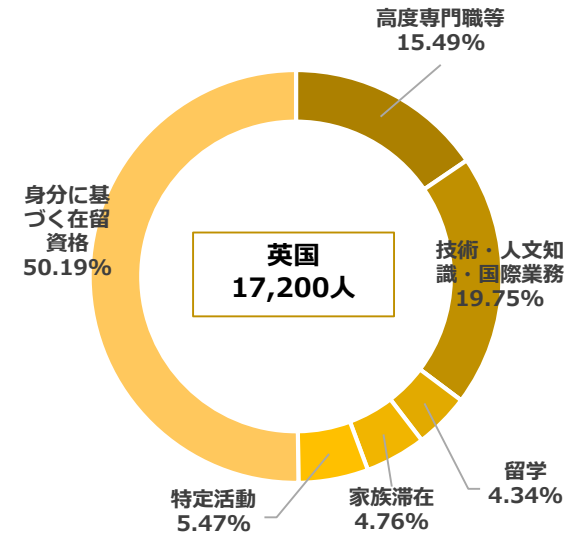
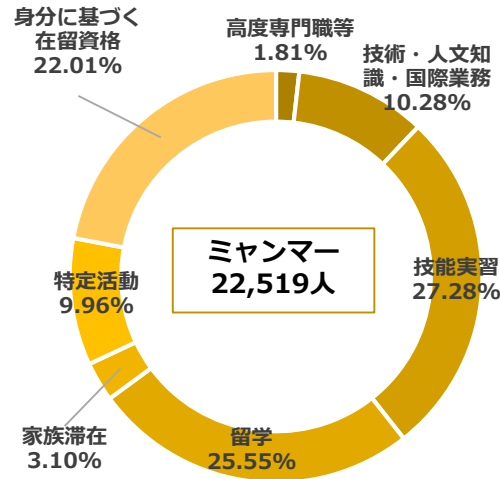
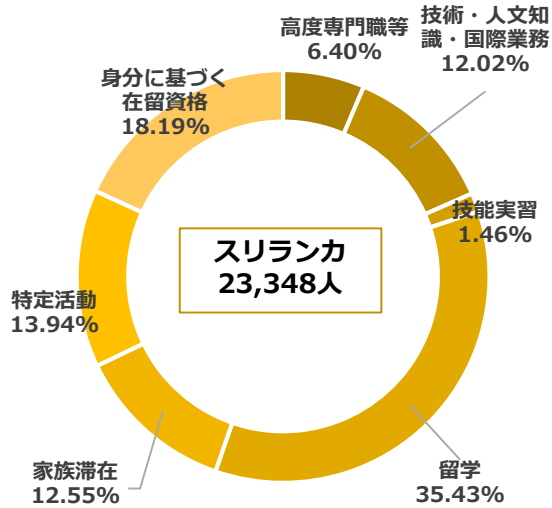
国籍別在留資格内訳②

(2017年末時点。在留人数10,000人以上)



国籍別在留資格内訳③

(2017年末時点。在留人数10,000人以上)



国籍別在留資格内訳④

(2017年末時点。在留人数10,000人以上)

